寺山修司
生誕80年

世界的に活躍した寺山修司を通して、遠く時代へ目を向けよう!!

寺山修司市民大学総合講座

●開講記念講座

2015.8.29[土] 14:00〜16:00

佐々木英明
[三沢市
寺山修司記念館館長]

笹目浩之
[㈱テラヤマ・ワールド
代表取締役]

「寺山修司生誕80年にあたって」

会場=寺山修司記念館 Tel：0176-59-3434

●第1回講座

2015.9.26[土] 14:00〜16:00

中里茉莉子 [歌人・五月会会長]

「語り継がれ読み継がれてゆく寺山短歌」

会場=寺山修司記念館 Tel：0176-59-3434

●第2回講座

2015.10.31[土] 14:00〜16:00

世良啓 [作家]

「『寺山修司のラブレター』を読む」

会場=三沢市総合社会福祉センター Tel：0176-51-8770

●第3回講座

2015.11.21[土] 14:00〜16:00

金澤茂 [弁護士]

「修司断章〜青森高校物語」

会場=三沢市商工会館 Tel：0176-53-2175

●第4回講座

2015.12.13[日] 14:00〜16:00

増田セバスチャン

「寺山修司との出会いの意味」

会場=三沢市商工会館 Tel：0176-53-2175

●第5回講座

2016.1.23[土] 14:00〜16:00

穂村弘 [歌人]

「寺山短歌の新しい解釈」

会場=三沢市公会堂 Tel：0176-53-8711

●第6回講座（最終）

2016.2.27[土] 14:00〜16:00

京武久美
[俳人]

佐々木英明
[三沢市
寺山修司記念館館長]

「寺山俳句の時代背景」

会場=三沢市公会堂 Tel：0176-53-8711

3回以上参加で、第6回講座（最終）の出席者には修了証と記念品を差し上げます。

お問合せ

三沢市寺山修司記念館
Tel: 0176-59-3434 (9:00〜17:00)
shuji_terayama@mctvnet.ne.jp

寺山修司五月会事務局
青森県三沢市大字三沢字淋代平116-2955

主催：寺山修司五月会　共催：三沢市寺山修司記念館 / テラヤマ・ワールド

受講料無料!! どなたでも、自由にご参加できます。

平成27年度 三沢市協働のまちづくり市民提案事業　寺山修司五月会 会員募集中!!

寺山修司
生誕80年

寺山修司市民大学総合講座

寺山修司市民大学について

「寺山修司市民大学」は、郷土三沢の誇りである寺山修司をもっとよく知ってもらいたいと2009年に開校されました。

歌碑が建立され、記念館はできた。でも、当時、まだ寺山修司は名声だけが先行し、三沢市民にとってなじみのうすいものでした。多くの市民にかれの偉大な業績をどうすれば伝えられるのか、どうすればその難解とされる作品群に親しんでもらえるのか。

寺山修司の同級生たちを中心に構成される「寺山修司五月会」は考えました。

寺山修司はただ難しいだけじゃない。ひとびとのこころに訴えかける切実でやさしい心情から出発したのだと。三沢の地の記憶から、かれは世界へ飛び出して行ったのだと。わたしたちにもまだかれのことはわからない。あるいはかれは永遠の謎なのかもしれない。であれば、まずわたしたちがかれのことをもっと知ろうじゃないか。そうだ、わたしたちといっしょに楽しく学べる場、かれの名を冠した市民のための「市民大学」。そこから第一歩をはじめてみようじゃないか。

寺山修司ゆかりの講師陣をお招きし、かれの作品をわかりやすく解説してもらおう、かれとおなじときを過ごしたひとたちに、かれの人柄、かれの癖などをときに冗談っぽく話してもらおう。わたしたちは夢見る。明るい午後の教室で、ときに眠気に誘われながら、ときに笑いの渦に巻き込まれながら、寺山修司というひとがどんな人生を歩んできたのか、どんな苦しみや希望がかれの作品を生み出して来たのか、それを少しでも共有できることを。

これまでの6年間、「寺山修司市民大学」では、歌人、俳人、演劇、映画の関係者、またその研究者など多彩な講師の方々をお招きし、寺山修司にまつわる興味深いエピソードをまじえた幅ひろい講座を展開してきました。受講者も年々増え、少しずつですが寺山修司は確実に市民のあいだに浸透して来ています。「わたしたちはどこからやって来て、どこへ向かおうとしているのか」。寺山修司は問いかけるひとです。そして、いまこうして生きていることをたえず伝えようとしてきたひとです。大切なのは理解することではなく、かれを、かれが生きた時代を、そしてわたしたちが生きている時代を感じることだろうと思います。寺山修司をもっと身近に。そうです。隣にいて、ちょっと淋しそうにしている、まるで気心の知れた友だちのように。

さあ、今年も8月29日、「寺山修司市民大学」がいよいよ開講します。みなさま、こぞってのご参加を。

寺山修司五月会について

「寺山修司五月会」は、1990年3月、それまでの「文学碑建立発起人会」に代わって設立されました。歌碑建立という大きな役目を果たし、次なる目標、「寺山修司記念館」創設へ向かっての発展的解消でした。寺山修司とは古間木小学校、中学校で同級同窓だったひとたちが中心ですが、最近は寺山修司に関心を持つさらに若い世代の会員も増えてきています。現在、会員数30名。1997年の記念館創設後も「短歌の径」歌標設置、記念館イベントのサポート、市民大学、ゆかりの地標識設置、寺山食堂など、寺山修司を三沢市民に浸透させようとするさまざまなボランティア活動を行っています。

中里茉莉子(なかさと・まりこ)

1945年旧満州生まれ。23歳より作歌を始める。青森県歌壇新人賞、青森県短歌賞、全国万葉短歌大会最優秀賞、小町ろまん全国短歌大会最優秀賞、まひる野賞、十和田市文化賞などを受賞。現在現代歌人協会会員、十和田市文化協会副会長、十和田短歌会会長、まひる野青森十和田会支部長、寺山修司五月会会長。著書に歌集「月夜の自転車」「渚まで」詩集「手のひらの声」「群青」。平成28年1月第3歌集の出版予定。

世良啓(せら・けい)

青森県弘前市出身。作家。2011年、小説「ロングドライブ」で第1回東奥文学賞大賞を受賞。創作のほか青森県の文学者や郷土史について調査、研究。寺山修司生誕地や父八郎を調査した「寺山修司リアル出生譚」(『北奥氣圏』5号)、津軽のこぎんを救った大川亮〜」(陸奥新報連載)など。弘前ペンクラブ会員。寺山修司記念館研究員。藤崎町在住。

金澤茂(かなざわ・しげる)

1936年3月青森市生まれ。郵便局・郵政局・郵政本省勤務を経て弁護士(1967年〜)。野脇中学、青森高校で寺山修司と同期。青森高新聞部に所属(寺山も)。元青森県弁護士会長、元東北弁護士連合会長。寺山修司祭(1983年〜1993年)実行委員。著書:『修司断章』(私家版・2006年)、『青森高校物語』(北方新社・1988年)、『弁護士の手帖』(北方新社・1985年)、『チェルノブイリへの小さな旅』(北の街社・2003年)他

増田セバスチャン(ますだ・せばすちゃん)

アートディレクター/アーティスト。原宿kawaii文化をコンテクストとしたアーティスト/アートディレクター。1995年にSensational Kawaiiがコンセプトのショップ『6%DOKIDOKI』を原宿にオープン。きゃりーぱみゅぱみゅ「PONPONPON」MVの美術で世界的に注目され、六本木ヒルズのクリスマスツリーや原宿観光案内所の世界時計のモニュメントなどを制作。2014年からニューヨークを拠点にアーティスト活動を展開中。

穂村弘(ほむら・ひろし)

歌人。日経新聞歌壇選者。1962年札幌生まれ。著書に『ラインマーカーズ』『世界音痴』『にょっ記』『本当はちがうんだ日記』『絶叫委員会』『蚊がいる』など。『短歌の友人』で第19回伊藤整文学賞、「楽しい一日」で第44回短歌研究賞。木内達朗との絵本『あかにんじゃ』で第4回ようちえん絵本大賞特別賞を受賞。近刊に宇野亞喜良との絵本『恋人たち』、『ぼくの短歌ノート』がある。

京武久美(きょうぶ・ひさよし)

1936年青森市生まれ。中学2年のとき、寺山修司と同学級になり、学級文芸雑誌の編集等で文芸仲間としての親交がはじまる。高校時代、東奥日報紙面に学生俳句欄が設けられたことを機に、お互い俳句にのめりこみ、校内に山彦俳句会を設立し、俳誌「青い森」を発行。更に昭和29年寺山と全国の高校生に呼びかけ、全国十代俳句研究誌「牧羊神」を創刊し、編集発行する。現在、俳誌「海程」「黒艦隊」に所属し、句作活動を続けている。

笹目浩之(ささめ・ひろゆき)

1963年生まれ。茨城県出身。1987年に株式会社ポスターハリス・カンパニー設立。90年より演劇・映画祭・イベントの企画・宣伝・プロデュースも多数手がける。現在、株式会社テラヤマ・ワールドの代表取締役として、寺山修司の著作権管理及び三沢市寺山修司記念館の指定管理者(2009年から)。編著に『ジャパン・アヴァンギャルド—アングラ演劇傑作ポスター100』。著書に、『ポスターを貼って生きてきた—就職もせず何も考えない作戦で人に馬鹿にされても平気で生きていく論』、『寺山修司とポスター貼りと。』。

佐々木英明(ささき・えいめい)

1948年、青森県・平内町出身。詩人、1968年県立青森高校を卒業し、寺山修司が主宰する演劇実験室「天井桟敷」に参加。舞台「書を捨てよ、町へ出よう」、映画「書を捨てよ、町へ出よう」、「邪宗門」、「阿片戦争」他に出演。1972年、天井桟敷退団。1987年帰郷。現在は、詩作に励みつつ、朗読会、演劇、講演などの活動を精力的につづけている。詩集、「愛について」(1993年)、「心を閉ざす」(1996年)、「刈株集」(2010年)がある。2012年4月より三沢市寺山修司記念館館長。